

# 琉球からみた世界史



山川出版社

[琉球からみた世界史\\_ダウンロード1](#)

著者:村井 章介 (編集)

出版者:山川出版社

出版时间:2011-6

装帧:単行本

isbn:9784634523586

2007年11月17日に開かれた史学会第105回大会の公開シンポジウム「琉球からみた世

界史」の成果を取りまとめ、関連する論文の寄稿もおおいで、現在の琉球史の研究状況を俯瞰し、さらに今後の課題を考えようとするもの。「キカイガシマ」海域の考古学、古琉球をめぐる冊封関係と海域交流、ラタナコーシン朝初期シャムにみる「朝貢」と地域秩序、鄭秉哲の唐旅・大和旅、琉球と朝鮮の儒教、ペリー艦隊の琉球来航、世界史からみた琉球処分、の8章構成。

作者介绍:

村井/章介

東京大学大学院人文社会系研究科教授

三谷/博

東京大学大学院総合文化研究科教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:【目次】（「BOOK」データベースより）

1章「キカイガシマ」海域の考古学ー「境界領域」としての奄美群島／2章	
古琉球をめぐる冊封関係と海域交流／3章	
久米島と琉球国ー久米島おもろの世界／4章	
ラタナコーシン朝初期シャムにみる「朝貢」と地域秩序ー「まるで琉球のようだ」（伊藤博文 一八八八年一月二十三日）／5章	
鄭秉哲の唐旅・大和旅ー皇帝と話をした琉球人／6章	琉球と朝鮮の儒教／7章
ペリー艦隊の琉球来航ー西洋の衝撃と対応をめぐって／8章	
世界史からみた琉球処分ー「近代」の定義をまじめに考える	
・・・・・・・・・・	<a href="#">(收起)</a>

[琉球からみた世界史\\_ダウンロード1](#)

标签

琉球史

日文书

评论

-----  
[琉球からみた世界史\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[琉球からみた世界史\\_ダウンロード1](#)